



(提供先：龍ヶ崎市観光商工課)

## 今月の1枚

# 龍ヶ崎のシダレザクラ

龍ヶ崎市内には、何世代にもわたって大切に守り育てられてきた名木が数多く残されています。それを受け当市では、市民が名木への関心をさらに高め、後世に名木の歴史等を伝えてほしいとの想いから、平成25年に「龍ヶ崎のお宝の木 巨樹・古木」を発刊しました。

本冊子に掲載された中でも特に素晴らしい名木が、天台宗般若院(金剛山観仏寺)のシダレザクラです。このシダレザクラは、関東地方では最大級の大きさ(樹高約10m、目通り幹囲約5m、枝張り東西約15m、南北約22m)を誇ります。樹齢は推定450年以上で、昭和28年には、茨城県の天然記念物に指定されました。

般若院は、天元元年(978年)に道珍法師によって創建され、安政3年(1856年)に自然災害により倒壊、その後、昭和36年(1961年)に再建されました。江戸時代は伊達家の位牌所となる等、由緒ある寺院として名高く、その本堂裏手にあるシダレザクラは、名木として古くから参拝者や市民に親しまれてきました。

当院のシダレザクラは、花が多く咲くエドヒガン(江戸彼岸)という品種です。この品種は、ソメイヨシノ等多くの桜の母種として知られています。花の色は薄紅から白の間で、花弁は5枚、花言葉は「心の平安」です。可憐な淡色の小花がひらひらと揺れる姿は、豪華なソメイヨシノに比べて、慎み深さや静かで落ち着いた風情を感じさせます。花の見頃は、品種名の通り、少し寒さが和らぐ彼岸頃で、ソメイヨシノより1週間程度早く開花します。

近年は、老木のため枝が枯れたりしましたが、根元の土壌改良等が行われ回復しており、訪れた人は、昔と変わらない太い幹と立派な枝ぶりを持つ威風堂々とした姿に圧巻されることでしょう。

この春、ご家族・ご友人とともに、龍ヶ崎市内の歴史や文化、自然等に触れながら、美しい般若院のシダレザクラをご覧になってみてはいかがでしょうか。(筑波総研株式会社 研究員 富山かなえ)



◆場所：茨城県龍ヶ崎市根町3341番地  
天台宗般若院(金剛山観仏寺)

アクセス：【電車】 関東鉄道竜ヶ崎線竜ヶ崎駅から  
徒歩約10分

【車】 常磐道谷和原ICから約40分  
圏央道牛久阿見ICから約20分

※駐車場は、龍ヶ崎市役所を御利用下さい。